

Postfixに宛先ドメイン別リレーさせる

2024/01/05

VPSで動かしていたメール送信プログラムをローカルサーバで実行させた時にGoogleのSMTPに拒否されたのでその対処を行ったときの記録。

概要

S社のVPSで動作させていたプログラムでは以下の種類のメールを送信していた。

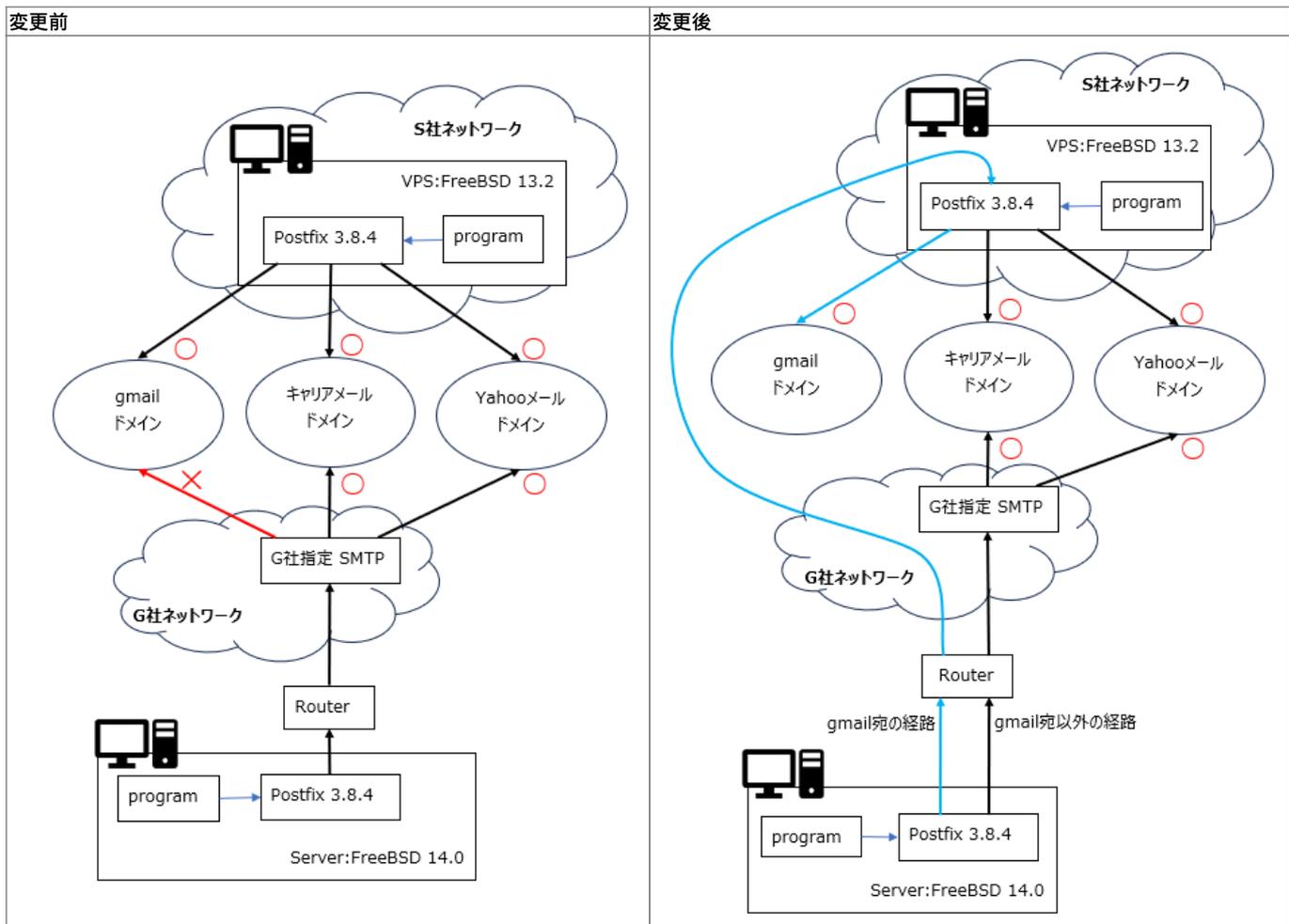
- キャリアメール宛
- yahooメール宛
- gmail宛

部屋の環境はプロバイダG社の回線を使っておりメール送信に際してはG社で指定するSMTPサーバ経由で送信を行っている。

このプログラムを部屋のローカルサーバで稼働させたところ、gmail宛のメールがSMTPでアクセス拒否されてしまった。

調べたところ、gmail側がG社ネットワークからの接続をほとんど拒否している状態らしい。*SPAM発信元として利用されまくったせいかなあ...

できるだけ既存の送信経路を変更したくない。
gmail宛メールのみVPSのPostfixにリレーして対応する。



前提

- 各Postfixのmain.cf内パラメタmydomainで同じドメインを設定済みである 例： mydomain = hoge.jp
- 指定ドメイン(hoge.jp)のDNS定義には最低限SPFレコードを追加しローカルサーバ(Router)[]VPS[]を送信許可のあるホストとして登録済みである

設定

説明中にブラケットで囲んだ表記が出てくる。
 例えば “[VPSのIPアドレス]” とあった場合 []IPアドレスが8.8.8.8だとすると “[8.8.8.8]” の意となる。
 例えば “[xxxのアドレス]” とあった場合、アドレスがmail.hoge.jpだとすると “[mail.hoge.jp]” の意となる。

VPSのPostfix

main.cf

main.cf内パラメタmynetworksにローカルサーバ(Router)のIPアドレスを追加する。

```
mynetworks = 127.0.0.0/8, IPアドレス/32
```

mynetworksに登録されたネットワークからは認証等無しに接続できる。もし怖いならパラメタsmtpdシリーズの説明を調べてID/PASSを設定する事も可能。 ちょっと面倒。

ローカルサーバのPostfix

main.cf

transport_mapsでリレー先を選択させるのでmain.cf内のパラメタrelayhostの指定をコメントアウトする。
元々はG社指定SMTPサーバをパラメタrelayhostで指定していた。

次に以下の指定を追記する。

```
transport_maps = hash:/usr/local/etc/postfix/transport
smtp_sasl_password_maps = hash:/usr/local/etc/postfix/relay_passwd
smtp_sasl_auth_enable = yes
smtp_sasl_security_options = noanonymous
inet_protocols = ipv4
```

transport_maps

パラメタtransport_mapsは宛先ドメイン毎にリレー先を指定するマップになる。
/usr/local/etc/postfix/transportにファイルを作る。

```
localhost      :
gmail.com      smtp:[VPSのIPアドレス]
*              smtp:[G社指定SMTPサーバアドレス]:G社指定のポート番号
```

この例は、宛先がローカル無いならリレーせずgmail.comドメイン宛ならVPSへリレーし、それら以外はG社指定SMTPサーバへリレーする。

postmapコマンドで/usr/local/etc/postfix/transport.dbを生成する。
main.cfで/usr/local/etc/postfix/transportと記載しているが実際に使用するの
は/usr/local/etc/postfix/transport.dbになる。

```
postmap /usr/local/etc/postfix/transport
```

smtp_sasl_password_maps

うちの環境ではパラメタsmtp_sasl_password_mapsの指定も必要だった。これはG社指定SMTPサーバはユーザ認証を必要としている為、/usr/local/etc/postfix/relay_passwdを作成し指定する必要がある。

```
[G社指定SMTPサーバのアドレス]:G社指定のポート番号 ユーザID:パスワード
```

postmapコマンドで/usr/local/etc/postfix/relay_passwd.dbを生成する。
main.cfで/usr/local/etc/postfix/relay_passwdと記載しているが実際に使用するの

は/usr/local/etc/postfix/relay_passwd.dbになる。

```
postmap /usr/local/etc/postfix/relay_passwd
```

inet_protocols

この指定は状況による。

SPFレコードでipv4のアドレスを設定していた場合、環境によってはipv6で通信が行われSMTPサーバからキックアウトされてしまう。

このパラメタを明示的に設定する。

```
inet_protocols = all
```

もしダメであればipv4を明示する。

```
inet_protocols = ipv4
```

[mail](#), [postfix](#), [relay](#), [SPF](#), [技術資料](#)

From:

<https://wiki.hgotoh.jp/> - 努力したWiki

Permanent link:

<https://wiki.hgotoh.jp/documents/mail/mail-017>

Last update: **2024/01/08 07:15**

